



ま ち の 達 人 TATSUJIN

自称「洗車の達人」
長谷川 康和

自動車に携わっている仕事柄からか、生来のきれいな好きの性分からか、私は洗車をするのが好きである。自宅の自分の部屋はなかなか片付かないのであるが、車が汚れているとどうも気になって仕方がない。
休日天気がよく、気分も晴々している日には早朝から洗車をする。
私の場合、洗車のための便利アイテムを一式用意することから始まる。まずは高圧洗浄機。これを使用することで、手でゴシゴシとこすって落とすより労力を省けるし、何より塗装を傷付けずに済むことが最大の利点である。
二つ目はバケツとタオル。これは必需品であるが、ポイントにはタオルである。洗車愛好諸氏

はご存じかと思うが、いわゆる普通のパイル地タオルは法度である。なぜなら、普通のタオルは水の吸収が良いが、表面の凹凸に砂ぼこりなどの汚れが付着しやすく、その汚れによって、またはタオルそのものの凹凸によって塗装面に傷を付けてしまうためである。

分かりますか？ 言い換えれば、サンドペーパーでボディーをこすっているのと同じということである。そこで使用するのが、洗車専用の合成タオル。これを使用すれば傷を付けにくい。以下、私が思う洗車をうまく行うコツを紹介する。

- ・洗車は上から下に洗う方が効率が良いため、水をかけながら屋根から順に合成タオルで軽くながしながら洗い流す。
- ・拭き取りは、こすらず軽くたたくように水を吸い取る。

これからますます洗車が楽しくなる季節であるが、日中の炎天下においての洗車は、車にとっても人間にとっても悪影響があるため、気温が上がる前の早朝か直射日光が和らぐ夕方に行なった方がよい。追伸、洗車が楽しい季節は同時に渴水期でもあるため、洗車も程々に。

水族館

学芸員 小林龍二

竹島水族館 ☎68・2059

アシカが、言うことを聞かなくなり、シヨールができなくなってしまうことを「アシカがくずれる」といいます。アシカトレーナーが一番恐れていることです。

アシカがくずれる原因は、季節によるもの(特に夏バテ)やトレーナーとのちよつとした呼吸のズレ、シヨール種目の飽きなどいろいろあります。

例えば、自分のミスで失敗したにもかかわらず、その途端に「やめた！」とプールに入ってしまうとこなくなることもあります。こうなるとトレーナーの心境は、華々しいシヨールをする楽しさから一転、どん底に落ちたような気持ちになります。

くずれるアシカ

また、どういうわけかアシカがくずれるのは、お盆やゴールデンウィークなど、お客さんがたくさん来館する時が多いです。満員の中、シヨールをボイコットしてプールで泳ぎまわるアシカをパニック状態になって必死に呼び戻すトレーナーの姿は見るも無残な光景です。さらに、シヨールは1日4回あるので、次の回も同じハメになるのではないかと、トレーナーはお先真っ暗な状態になります。

そんな時、ばかげた話ですが、トレーナーはヒトとアシカという関係を越えて、ステージに出る前、アシカに向かって「頼むから、しっかり最後までやってください。お願いします。」と敬語を使っています。話しかけることすらあります。



アシカと私